ハンカチの木

パワーアライアンス税理士事務所 News

Power Alliance Tax Accountant Office

編集発行人
パワーアライアンス税理士事務所
税理士 若杉 治
〒151-0073
東京都渋谷区笹塚3-37-1
第1花井ビル2F
TEL 03(5365)4744㈹
FAX 03(5365)4745
E-mail info@wakasugi.zei-mu.net

◆ 5月の税務と労務

国 税／4月分源泉所得税の納付 5月10日
国 税／3月決算法人の確定申告（法人税・消費税等） 5月31日
国 税／9月決算法人の中間申告 5月31日
国 税／6月、9月、12月決算法人の消費税等の中間申告（年3回の場合） 5月31日
国 税／個人事業者の消費税等の中間申告（年3回の場合） 5月31日
国 税／確定申告税額の延納届出による延納税額の納付 5月31日
国 税／特別農業所得者の承認申請 5月15日

5月 （皐月）MAY

3日・憲法記念日　4日・みどりの日　5日・こどもの日

日	月	火	水	木	金	土
・	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	・	・	・

地方税／自動車税・鉱区税の納付
都道府県の条例で定める日

ワンポイント

地方税納付書にQRコード　令和5年度から、地方税の納付書に「地方税統一QRコード」（eL-QR）が付されています。このQRコードにより、市・県民税（普通徴収）や固定資産税・都市計画税、自動車税・軽自動車税（種別割）について、eLTAXや金融機関、スマホアプリによる納税ができます（対象税目は自治体により異なります）。

開放特許

開放特許とは

個人や会社が発明した技術や商品に対して与えられる「特許」ですが、この特許の権利を第三者へ開放することを「開放特許」といいます。

通常、特許権のある発明品については、特許権を取得した権利者のみが実施をすることができるシステムです。したがって、特許権を持たない者が実施をした時点で、特許権の侵害と扱われます。

しかし、開放特許の場合は､特許権利を持つ者が｢他者に利用してもらう方が良い」と考えることで、権利を開放している状態になります。

開放特許の実施要因

開放特許は、前述の通り特許権利者が「権利を開放した方が得策」と考えた場合に実施されることになります。

まずは前提として、特許権利を取得するメリットについて考えてみましょう。まず、特別な技術や商品の権利を持つことで模倣品を防ぎ、競合する他者と比べて有利な立場に立てることがあります。また、特許商品を「ライセンス」として使用することで、使用料を受け取ることも可能になります。特許商品を扱う者として、権利者の対外的な評価が上がり、第一人者としてアピールできるという利点も挙げられるでしょう。

そして、この特許を開放した方が得策だと考える要因としては、主に特許権を維持するための費用面の問題が挙げられます。

特許権は無料で得られるものではなく、取得費用や維持費など、さまざまな費用がかかります。一定の減免制度などは設けられているものの、特許権の維持費に見合った収益がない場合は、権利を開放した方が得策な場合があるのです。

たとえば、規模の小さい中小企業などで、特許権を活かした製品の開発や製造が資金難により困難なケースなどがこれにあたります。

また、特許取得後に企業が方針を転換し、特許権を活かした研究や開発を取りやめることになったケースについても、開放特許が行われる要因となります。

開放特許のメリット

開放特許を実施するメリットは、特許内容を活かした商品が世に出回るようになるまでの費用や時間を短縮できる点が挙げられます。

前述の通り、権利を取得しているのが中小企業である場合、新たな製品の開発や製造に割くための充分なお金や時間がないケースがほとんどです。特に、社長自らが営業や実際の製造に関わっている零細企業では、日々の業務で一日が過ぎてしまう場合が非常に多く、特許権の維持費とのバランスが見合わず、宝の持ち腐れになってしまう危険性があります。

また、大学の研究により特許権が得られた場合については、そもそも研究がメインの施設であることから、製品の製造や販売業務には対応できないケースも挙げられます。個人で研究を行った場合も同様でしょう。

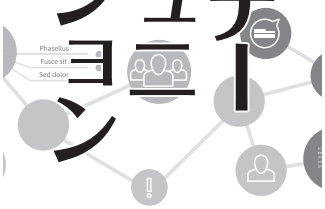
このような状況においては、特許権を第三者に向けて開放し、より良い内容とするための研究や製造、販売を他者にゆだねる開放特許を実施することが非常に有効となります。

開放特許の方法

開放特許には､実施承諾、いわゆる「ライセンス」を行うために開放する方法と、特許権利そのものを譲渡する方法があります。実施承諾の場合はライセンス収入を、権利譲渡の場合はその対価を受け取ることができます。

なお、中にはより広い場で活用して欲しいという理由から、無償で開放特許を行う場合があります。トヨタ自動車のFCV特許や、パナソニックの低炭素に関する特許などがこれにあたります。

インナーコミュニケーション



インナーコミュニケーションとは

インナーコミュニケーションとは、社員同士が接する機会を増やすため、または会社が掲げている理念や目標、ビジョンを浸透させ、組織としての一体感を深めるために実施するコミュニケーションのことです。

インナーコミュニケーションが注目される背景

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、人々の中に「ソーシャルディスタンス」という意識が浸透し以前と比較すると社員が顔を突き合わせて打ち合わせや会議に明け暮れる機会がめっきり減少しました。また、歓送迎会や打上げなどの飲み会、顧客との会食、社内運動会やバーベキュー大会などの各種イベントも減り、社員同士が仕事以外の場で交流する機会が失われています。

その代わり、テレワークや在宅勤務などのモバイルワークが増加し、社内のコミュニケーションツールはメールや社内掲示板などのSNSが主流となっているケースが増加しました。また、会議等も「Zoom」などのアプリを活用したオンライン会議が増えたことで、同僚や上司の顔を見る唯一の機会はパソコンの画面越し、という状況も珍しくなくなりました。

このような要因もあり、現在は社員同士の関係が希薄になり、コミュニケーションを取る機会がほとんどなくなっている点が問題視されています。同僚や上司、部下がどのような性格で何を考えているのかが分からないことで、不安や孤独感を覚える社員も少なくないでしょう。

さらに、終身雇用制が当たり前と認識されていた時代はとうに過ぎ、転職、中途採用が珍しくない時代に突入した昨今では、長期にわたり同一の人物と仕事をする機会が減ったことも、コミュニケーションが不足する原因の一つとして挙げられます。

インナーコミュニケーションのメリット

インナーコミュニケーションを実践することでまず得られるメリットとしては、社員同士の結びつきが深くなり、職場環境が良くなる点です。メンタルの不調を訴える社員が少なくない中、ここぞという時に頼ったり相談したりできる相手がいるということは、社員の精神安定へとつながります。また、ちょっとした雑談や笑い話ができる仲間がいると、仕事と休憩時間のメリハリがつき、社員の仕事に対するモチベーションアップへとつながる効果もあります。

また、異なる立場の社員が交流を深めることで、トップダウン・ボトムアップの双方のスタイルが活性化されます。その結果、社内の縦のつながりが強まり、会社の経営ビジョンが社員全体へと伝わるスピードや正確性が増し、会社全体が同じベクトルを向くという環境づくりが出来上がるのです。

インナーコミュニケーションの方法

インナーコミュニケーションを実践する具体的な方法としては、まずは日頃の会議や打ち合わせの頻度の見直しがあります。また、社内報で部署や社員の紹介欄を増やし、社員同士が相互理解できるような手段も効果的です。

さらに、日頃関わりの薄い部署を同じフロアに配置する、座席を互いの顔が見えるような配置に変更する、即座に規模に応じた打ち合わせができるようなフレキシブルタイプの打合せ室を導入するなど、社内環境を見直す方法もあるでしょう。

コロナ禍で他人との接触に気を配る中とはなりますが、できる範囲で社員のコミュニケーションを深める対応を検討してみてはいかがでしょうか。

限界ニュータウン

限界ニュータウンとは、地主が不在の状態で居住が困難な状況になっている土地のことです。働き盛り世代が減少し、居住者の半数以上が高齢者となったことで、森林や道路などの管理や冠婚葬祭などの行事を執り行うことが難しい状況になっている集落を「限界集落」といいますが、限界ニュータウンは、この限界集落を語源とし、新たに生まれた言葉になります。

限界ニュータウンが生まれることとなる要因は、戦後までさかのぼります。終戦後、爆撃などで住居を失った人や、兵役を終え戻って来た人のために、国は一定の居住地を確保する必要がありました。また、高度成長期には都心部へ人口が集まり、過密化による居住環境の悪化という問題も取りざたされていました。

このような状況を受け、土地開発ブームが到来し、地価が高騰しました。1970年代には都心部から公共交通機関で2時間前後という郊外地に住宅分譲地が立ち並び、郊外に住むということがスタンダードな状況になりました。

しかし現在、国内人口は減少の一途をたどり、高度成長期には賑わっていた郊外の住宅地の居住者は高齢化となる一方で、若者世代が新たに転居しないという過疎化が進行しています。かつて新興住宅地「ニュータウン」と呼ばれていた場所は、場所によっては道路や水道の整備がおぼつかない状況で、「限界ニュータウン」と呼ばれ社会問題化する運びとなりました。土地の所有者が不明で、自治体が整備の責任を負うという負担が増しています。

現在、このような限界ニュータウンを何とか活用できないか模索する動きが活発化しており、国はインフラ整備や地域の活性化への取り組みを開始しています。このような現状が明るみになるにつれ、新たな若い世代の転居などにつながることが期待されています。

トナラー

駐車場やカフェなどで、他に空きスペースがあるにもかかわらず、わざわざ隣に寄せてくる人を、昨今では「トナラー」と称するようになりました。特にコロナ禍の影響で人々が密を避ける習慣がつき、「距離を詰める行為」を不快に感じるケースが多いことにより、「トナラー」が認知されました。

トナラーの心理は、意識的に自身の座席や駐車スペースを決めている場合、無意識に不安感から人のいる場所を求める場合などさまざまですが、いずれも悪意がないケースがほとんどと言われています。

他人との距離感を意識することが多い世の中ですが、トナラーの存在を意識しすぎず、ゆったりした生活を心がけたいものです。

アンガーマネジメント

「アンガーマネジメント」とは、日々の生活や仕事中に生じる怒りの感情と向き合い、折り合いをつけていくための心理的なトレーニング方法を指します。

不透明な経済情勢やコロナ禍の影響などもあり、現代人はさまざまなストレスに直面しています。そのような中、イライラする気持ちを押し殺すのではなく、自身の怒りの感情の存在を認めて付き合っていこうと試みることで、人間関係をより良くすることを目指すアンガーマネジメントが現在注目されているのです。

アンガーマネジメントの実践法はさまざまですが、苛立ちを感じたらすぐに行動や発言をせず、深く呼吸をしたり、移動して心を落ち着けたりする方法があります。気持ちを落ち着けることで自身を客観的に見つめることが可能となり、ストレス軽減へとつながります。

是非社員研修で取り入れてみてはいかがでしょうか。